

令和3年度 使用教科用図書の採択について（前期課程）

奈良女子大学附属中等教育学校

教科	採択教科書	採択の理由（内容、資料、表記・表現等）
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習」のページに、「振り返り」の項目が適切に配置されており、学びのメタ認知が促進されるよう配慮されている。 ・各学年に魅力的な古典教材を掲載するなど、伝統的な言語文化と国語の特質に関する内容を含んでいる。 ・すべての学年で情報について考える教材を設定し、情報の収集、活用、発信などメディアリテラシーに関する学習を含んでいる。 ・その他、全般にわたって主体的な学習が促進される教材が配置されていて、新学力観に最もかなうと判断した。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚資料が豊富で、立体的に書写を学べるから。 ・書道文化に関する記述が豊富で、単に書写の練習をするのみならず、文化史的な観点から書写の学びを深めることができるから。
社会（地理） 帝国書院		<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の諸地域に関する地理的認識を深めさせるため、因果関係がわかる記述とそれを補足する資料を提示している。 ・「世界のさまざまな地域の調査」で統計の活用方法などについて習得できるように構成されており、「身近な地域調査」については地形図を読み取る技能の習得方法を示している。 ・学習内容を文章で説明する学習課題を設定している。
社会（歴史） 山川出版社		<ul style="list-style-type: none"> ・世界史領域の内容が豊富で、また「〇世紀の世界」という形で、同時代の世界の様子や出来事を地図とイラストで概観できるなど、日本と世界の歴史を一体的にとらえる工夫がなされており、高等学校「歴史総合」との有機的な接続を図ることができる。 ・絵画資料、文献資料が豊富で、各時代の歴史・社会の特質について主体的に思考し、深める工夫がなされている。 ・分かりやすい叙述に加え、発展的な内容や、歴史の概念に関する解説も豊富に盛り込まれており、高等学校での歴史学習へとつなげる工夫がなされている。
社会（公民） 日本文教出版		<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに学習課題を提示し、学習内容を振り返るための「学習の確認と活用」を設定している。 ・民主政治の意義、人権の尊重に関する学習内容が充実しており、豊富な資料が用いられている。 ・学習内容の理解を深めるために「情報スキルアップ」「明日に向かって」「チャレンジ公民」のページを設けるなどの工夫がなされている。
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・基本図などのページに「やってみよう」と表記して、学習課題を提示している。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の災害と防災」について資料図の中に特設ページを設けるなど、今日的課題に対応している。
数学	数研	<ul style="list-style-type: none"> ・知識のつながりがわかりやすく、数学的な見方・考え方のプロセスを具体的に辿ることができる。自然・社会との関連も意図的に取り上げられ、現象をモデル化・言語化する思考が鍛えられる。発展的な問いや敷衍・応用につながる課題設定と文脈が心がけられており、高等学校での意欲的な学びに連続しやすい。 ・自主学習に役立つコンテンツやデジタル教材も用意されていて、多様な学習方法に対応できる。
理科	学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の課題が、簡潔に示されているので、生徒が目的をしっかりと把握することができるように工夫されている。 ・生徒が主体的・協働的に探究活動を進められるように、観察・実験の課題、操作手順、結果、考察の流れが分かりやすく示されている。 ・「Can-Do List 自己チェック」欄を設けることで、何ができるようになったかを生徒自身により確認できるようになっている。
英語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って学習に取り組めるよう、各 Unit に Goal が示され、You can do it !で学習の振り返りができる。 ・音声や各 Unit のストーリーの一部に触れられるよう、二次元コードが配置されていて、家庭学習に役立てられる。 ・会話文を叙述文に変えるリテリング活動や、テーマに沿って即興で判断し、やり取りする教材が設定されている。 ・情報活用能力育成のため、写真やグラフを見て英語を聞き取るページが設けられている。
音楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも前半に表現教材、次に鑑賞教材を配置し、双方を関連させながら指導できるようになっている。 ・幅広い分野から教材を取り上げ、世界のさまざまな音楽を学べるように工夫されている。
美術	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の題材の主文を中心として、話し合いなど言語活動の充実を図る工夫がなされている。 ・コンピュータなどデジタル機器を活用した表現や鑑賞活動を掲載している。 ・図版と学びを支える資料の構成が、実践的表現活動の触媒として効果的である。
技術	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な課題が示されているとともに、工具使用時の姿勢や手順の他、安全面の配慮などについても生徒に理解しやすいように工夫されている。 ・表の整理が丁寧で詳細であり、学習のまとめなど学びを整理する場面が多く設定され、さらに主体的に深い学びへと結びつけやすい

		<p>ような配慮がなされている。</p>
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的に知識や技能を習得できるよう導入・展開・振り返りの流れを基本とし、問題解決学習への取り組み方が示されている。 ・現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように、「安全」「衛生」「環境」「防災」「伝統文化」を取り上げたり、持続可能な社会について取り上げたり、将来を見据えた職業観・勤労観を育成するため、各分野で活躍する人を取り上げるなどの工夫がなされている。
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の最後に、考える、話し合う、調べる、まとめる、発表するなどの作業課題があり、各単元の終わりに、学んだことを振り返る課題が示されている。 ・応急手当の項目など具体的でわかりやすい説明がなされている。
道徳	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題について考える内容が充実しており、本校の道徳教育の指針と合致している。 ・学校教育の現場の視点に立った編集が基本となっており、担当教員が実際の授業で使いやすいよう工夫されている。